

## 八幡西区役所区長

南 政昭

### 『未来に誇れる折尾のまちへ』

フレスタアの発行50号おめでとございます。

「学園&地域交流ネットワーク」は、ボランティアの育成や地域活動の活性化に大きく貢献してこられました。とりわけ、気軽に立ち寄れる「交流の場・ゆめ広場」は、買い物や交通機関の待ち時間などで立ち寄る若者や地域の皆さんから大変喜ばれています。ありがとうございます。

さて、折尾は、折尾神楽、折尾まつり、堀川いっせい清掃、地域通貨オリオンなど、四季折々、手づくりのまちづくり活動が大変盛んなところです。また、「学園都市」という名に相応しく、学生が地元に着愛を持ち、

自主的にまちづくりや地域活動に参加するなど他に類がない特色あるまちでもあります。

安全・安心のまちづくりの面でも、生活安全パトロール隊の結成後、街頭犯罪の件数が減少するなど、地域で見守り合うまちづくりの成果がみられます。

一方、折尾駅周辺は、「ご承知の通り、折尾地区総合整備事業」が進んでいます。今年、折尾駅舎の解体など、事業がいよいよ本格化します。

このようにこれまで民間、行政がそれぞれの役割を担い、協働で折尾のまちづくりに取り組んできました。

将来、折尾のまちを、誰にでも誇れるまちにしたいと思っておりますので、これから「学園&地域交流ネットワーク」の皆さんのご協力をお願いします。

## 北九州市建築都市局

折尾総合整備事務所長

金子 孝治

### 『平成21年駅周辺での本格的な工着手にあたって』

「学園&地域交流ネットワーク」におかれましては、「ゆめ広場」を中心とした、学園と地域の方々の情報交換や交流促進の支援活動など、熱心に取り組まれていることにつきまして敬意を表すとともに、日頃から折尾地区総合整備事業にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。

現在、折尾地区総合整備事業により、折尾駅を中心とした交通環境の改善や交通結節機能のさらなる向上、駅南側の住環境の改善やまちの一体化などに取り組んでいます。

これまでに筑豊本線のトンネ

ル工事や新々堀川の移設工事のほか、将来の北口駅前広場や街路の整備に必要な用地の取得などに取り組んできました。

今年、これらに加え、仮駅舎の建設や折尾駅舎の解体など、鉄道の高架化工事に向け、事業がいよいよ本格化します。

市としても、本年は重要な時期として捉え、事務所職員一同、懸命に折尾のまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。

その一方で、まちづくりは、行政が実施するハード整備だけで成り立つものではなく、地域の方々の自主的な取り組みや市に対する提案など、「市民のちから」を発揮していただくことが大切ではないかと考えております。

特にここ折尾では言うまでもなく、多くの地域の方々が様々なまちづくり活動に取り組んでおられます。

昨年6月に「おりお未来21協議会」から北橋市長へ提言された「折尾まちづくりビジョン」もそのひとつで、このビジョンを策定された「おりお未来21協議会」には貴団体も参加されております。

今後は、このビジョンを活用しつつ、駅を中心としたにぎわいの創出と、誰もが安全・安心に暮らすことができる折尾のまちづくりを実現できるよう、皆様方と一緒に取り組んでいきたいと思っております。

皆様方の一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



折尾神楽 夏越祭 神楽

こすげのりかす

## おりお未来21協議会会長

山本 啓治

### 『折尾のまちづくり』

『わたしの願い』』

平成元年度に北九州市がルネッサンス構想で折尾を地域中心核に位置づけ、平成8年度に折尾まちづくり構想が発表されました。

そして平成14年度に折尾総合開発事務所が設置されて事業に必要な手続きの後、総額830億円をかけた折尾地区総合整備事業（折尾駅周辺連続立体交差事業、折尾土地区画整理事業、街路事業）が始まりました。

この機会を逃すことなく、まちづくりの主体である私たち地域住民は、折尾の特徴を十分に生かしたまちづくりを推進するため、これまで折尾のまちづくりに取り組んできた各団体の

方々が集まり、「おりお未来21協議会」を設立して平成18年度に発足いたしました。

折尾のまちを、将来子供や孫たちに誇れる新しい魅力のあるまちとして創り上げていくため、常に地域の声を中心とした勉強会を開き、北九州市とのパートナーシップのもとお互いに意見交換をしながらまちづくりを推進してまいりました。

また私たちが目指す折尾地区のまちづくり目標を

【折尾まちづくりビジョン】として二年掛かりでまとめました。一年目は、折尾地区の特性・問題点を明らかにしたうえで、私たちが目指す折尾地区の将来の夢を「人が主役、やさしいつばいのまち」という言葉で表現し、また、まちをイメージする4つの柱として

便利で魅力的な商業で賑うまち  
折尾らしさを感じる美しいまち  
誰もが活動しやすいまち

豊かな生活ができるまち

の4項目で表現しました。

二年目は4つの専門部会を発足させ、学識経験者等の専門家を交えた議論の結果を重視して、折尾住民が望んでいる将来の姿や、まちづくりの基本的な考え方、目標を取りまとめた【折尾まちづくりビジョン】を北九州市に提言しました。

今後、10年から20年かかると言われている長期的な事業の中で、私たちはこのビジョンを基に、個別具体的な課題に対してより深く議論し知恵を出し合いながら、住みやすく魅力的な、全国に誇れる新しい折尾のまちの実現を目指して北九州市との協働によるまちづくりを推進してまいりたいと思っております。